

[anbai_16]

推進員名	安倍 隆（報告者）、岡崎 朱実
活動タイトル	「第 30 回えべつ環境広場 2020 オンライン」の開催
実施日	2020 年 9 月 13 日
場所	（オンライン開催）
対象数	約 100 人
内容	<p>「えべつ環境広場」は、江別市と市内の環境活動団体等が連携し、環境に関する情報提供や、市民と一緒に環境について考える場として、平成 3 年から開催しているイベントで、今回で 30 回目です。</p> <p>今年は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で従来のような会場開催はできませんでしたが、オンラインイベントとして開催しました。</p> <p>例年は江別市野幌公民館で 2 日間開催し、様々な体験や工作、講習会、展示、映画上映など様々な内容を盛りだくさんに提供していますが、今年は次の 2 つに絞って YouTube で配信を行いました。</p> <p>第 1 部 e トーク「持続可能な江別を目指して 4」 第 2 部 環境屋台村オンライン</p> <p>第 1 部は、江別の新しい施設「生涯活躍のまち（ココルクえべつ）」のコーディネーターでもある 3 人のゲストとのトークセッションです。</p> <ul style="list-style-type: none">・栗田敬子さん（NPO 法人エコ・モビリティサッポロ）・橋本正彦さん（Community Hub 江別港 えべつ計画 他）・林 匡宏さん（ゲニウス・ロキが旅をした 他）・進行は岡崎朱実さん（北海道地球温暖化防止活動推進員） <p>持続可能な地域に必要な要素や、江別をこんな風にしたいというアイデアについて、地域を元気にする活動をされている 3 人の実践から見えたこと、そして、視聴者からリアルタイムで届くコメントや、事前に募集した意見を基に話し合い、それを林さんがリアルタイムで絵に描きました。</p> <p>高齢者と若者をつなげるエコな乗り物がゆったりと走り、人と人との距離が近くて移動が楽しい。農場や家庭菜園も多く、食べ物やエネルギーの地産地消がすすんでいる。子育て世代にも優しい。お祭りや伝統行事も盛んで、多世代の市民と一緒に活動しており、活動のノウハウの継承も行われている。など、住んでみたくなる、ワクワクするアイデアがたくさん出てきました。</p> <p>第 2 部は、環境屋台村オンラインとして、毎年えべつ環境広場を一緒につくってくれている出展団体が、それぞれの活動を動画にまとめて、それらの紹介をしました。</p> <p>環境教育やごみ減量、自然保護、プラスチックフリーの取組など、江別市内で行われている</p>

様々な活動や、CCS（二酸化炭素の回収・貯留）技術や燃料電池車についての紹介など、環境に対して幅広い切り口で実践している活動を紹介しました。

また、例年行っているスタンプラリーに代わり、北海道の環境キャラクター環境忍者えこ之助が5つのキーワードを紹介する記念品プレゼントのアンケートも行いました。

今回、配信も動画制作も、私たち運営・出展者にとっては初めてのチャレンジでした。完成度は十分ではなかったと思いますが、単なる中止ではなく、形を変えてでも実施したことで、遠く離れた人や初めて環境広場を知った人にも、アプローチすることができました。私たちにとっても、デジタル社会の新しい広報手法を知る良い機会となりました。

第1部、第2部とも、次のサイトにアーカイブとして公開していますので、ぜひご覧ください。

▼<https://bit.ly/3iAJ7Jf>

なお、えべつ環境広場の主催は「えべつ地球温暖化対策地域協議会」で、私が会長として、同じく北海道地球温暖化防止活動推進員の岡崎朱実さんが副会長兼事務局長として関わっています。（地球温暖化対策地域協議会は、「地球温暖化対策の推進に関する法律」で、地球温暖化防止活動推進員が、地方公共団体や、事業者、住民等と連携して、日常生活における温室効果ガスの削減を図るものと位置づけられており、推進員の重要な活動の一つです。）

▼えべつ地球温暖化対策地域協議会

(URL) <http://ebetsu-earth.net/>

実施写真等

